

KIFアニュアルレポート2011 (平成23年度 年報) の発行にあたって

2012年4月1日に、熊本市国際交流振興事業団(以下、KIFと記述)は、一般財団法人への移行登記を完了しました。私は、最初の理事長に就任いたしました吉丸良治(よしまる りょうじ)でございます。



吉丸良治 理事長

K I Fは、2004年3月1日の創設以来、国際交流事業をとおして市民レベルでの世界各国の方々との相互理解と友好親善を促進するとともに地域の活性化を図りながら、我が国の国際化、ひいては、世界の平和と安定に貢献してまいりました。途中2006年4月より、熊本市国際交流会館の指定管理者として、住民サービスの向上と経費削減に努めています。また、公益法人改革に伴う2008年からの新制度施行に従い、前述のとおり、一般財団法人へ移行しました。

一方、熊本市は、2010年に策定した国際化指針で「世界へ開かれた活力ある都市の実現」を目指し、中国・上海の熊本県・熊本大学との共同事務所の開設、アジアンホリデー事業の実施など東アジア戦略(熊本市の存在感を示し、東アジアから選ばれる都市になる!)を展開しています。また、2012年4月には、「政令指定都市」となり、パスポートセンターの熊本県からの移管、これまで黒髪小学校一校であった日本語支援センター校に桜木中学校の追加など、国際化施策が強化されました。さらに、国の大きな国際化の動向として、2009年の出入国管理及び難民認定法の大幅な改正が、本年7月から施行され、3ヶ月を超えて正規に日本に滞在する外国人「中長期在留者」に「在留カード」が、「特別永住者」に「特別永住証明書」がそれぞれ発行されます。彼らは、初めて住民基本台帳に登録されることとなります。

K I Fは、このように法人自体、そして社会の大きな変化に対応しながら、「すべての人が安心して快適に暮らせる開かれた社会」の実現をめざし、熊本市域から広い範囲で国際化を推進していくために、地域における中核的な民間国際交流組織として熊本市と民間組織、そして市民の方々をつなげていく役割を担っていきたいと考えています。

2011年度を振り返りますと、3月11日の東日本大震災という未曾有の大惨事、そして福島原発事故があり、熊本市においても、多くの外国人から不安の声、相談をいただきました。

このような中、K I Fは、多言語での情報提供を行い、少しでも安心を届けるお手伝いをいたしました。一方、3月12日に、九州新幹線が全線開通し、これを機に、国内外よりの訪問者の皆様に、熊本城やその城下町をゆっくり訪れ、「熊本らしさ」を存分に味わっていただくことを目的に、レンタサイクル事業を創設しました。その他、国際交流事業、多文化共生事業、国際化推進事業、情報提供事業、ボランティア活動推進事業、熊本市国際交流会館の管理運営事業等を実施し、市民レベルの国際化を積極的に推進いたしました。

2011年7月吉日
一般財団法人熊本市国際交流振興事業団理事長
吉丸 良治